

令和6年度 第4回 萩丘小学校運営協議会

日時：令和6年2月17日 14:30～

会場：萩丘小学校 会議室

<次第>

- 1 開会 （司会：教頭）
 - 2 会長挨拶
 - 3 校長挨拶
 - 4 議長の選出
 - 5 前回会議録確認
 - 6 熟議 （司会：議長）
 - （1）学校関係者評価（太田）
 - （2）令和7年度学校運営の基本方針の説明（校長）
 - （3）令和6年度学校運営協議会自己評価（教頭）
 - 7 報告
 - （1）夢育やらまいかCS加算分の報告（袴田）
 - （2）令和6年度のコミュニティ・スクールの取組について
（前回CS研修会について）
- CSコーディネーターより
- 8 連絡、その他
 - ・卒業式、入学式について
 - ・来年度学校運営委員メンバー、萩っ子サポーターズメンバー
 - 9 閉会

第4回 学校運営協議会名簿

学校運営協議会委員

会長	鈴木 莞爾(すずき かんじ)
副会長	鈴木 健太郎(すずき けんたろう)
委員	長谷 明浩(はせ あきひろ)
委員	岡本 護(おかもと まもる)
委員	大橋 邦久(おおはし くにひさ)
委員	渡邊 貴子(わたなべ たかこ)
委員	門奈 正洋(もんな まさひろ)
委員	北田 由美(きただ ゆみ)(学校支援コーディネーター)
委員	増崎 桂(ますざき かつら)(学校支援コーディネーター)

オブザーバー

学校評価委員	森本 岳二(もりもと たけじ)
北部協働センター	嶋田 哲也(しまだ てつや)

学校

校長	須藤 邦夫(すとう くにお)
教頭	袴田 洋史(はかまた ひろし)
主幹	太田 健太郎(おおた けんたろう)
CS担当教職員	中西 聖司(なかにし せいじ)
CSディレクター	鈴木 かおり(すずき かおり)

浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子(すずき ようこ)
-------	----------------

令和7年度 浜松市立萩丘小学校 グランドデザイン

目指す学校像

「豊かなかかわり合い」と「質の高い学び」
の中で、自分のよさを発揮し、将来輝くため
の自分を創る「未来につながる学校」



はままつの人づくり

第3次浜松市教育総合計画
「未来創造への人づくり」
「市民協働による人づくり」



はぎるん

学校教育目標

いい顔 いい友 いい学校
～かかわりの中で自分を磨く子の育成～



くすい

☆重点目標（目指す子供の姿）

知	徳	体	生
考える子	やさしい子	チャレンジする子	自分らしく歩む子
基礎基本を身に付け、自ら課題を見付けて考え、よりよく問題を解決する資質能力を身に付ける子	自分の役割を果たしつつ、協力、協働し、素直な心や思いやる心、感動する心などの豊かな人間性をもつ子	何事にも挑戦し、自分を律して続けることで最後までやり抜きたくましく生きることができる子	振り返り、自分を見つめながら、よりよく未来を生き抜く子（自己有用感を高めることができる子）
生きる力（知・徳・体のバランスのとれた力）			生き抜く力

☆付けたい力（キャリア教育との関連性）

よりよく学ぶ力 （課題対応能力）	かかわる力 （人間関係形成・社会形成能力）	ふみ出す力 （自己理解・自己管理能力）	なりたい自分を考える力 （キャリアプランニング能力）
① 基礎基本の定着を図る「学力向上プロジェクト」 ② 見通しをもたせる導入 ③ 視点を明確にしたかかわり ④ 学びを確かなものにする振り返り	① 心をつなげる「あいさつ月間」 ② 自己肯定感を高める「ほめほめプロジェクト」 ③ かかわり方を学ぶピア活動 ④ 互いの良さを認め合う授業でのかかわり ⑤ 互いの良さを生かす学級・学年の活動	① 自分を高める目標を設定（体育科・音楽科など） ② 自分たちで計画・実施する学級・学年活動 ③ 学んだことを生活の中で活用（道徳など）	① 良い学級・学年のイメージをもたせるための活動の工夫 ② なりたい自分の姿や目標をもたせるキャリアパスポートの活用 ③ 自分を見つめるための継続的な振り返り



研修主題

ひと・もの・こと・自分とのかかわりの中で学びをつなぐ授業の創造

萩丘小学校が大事にすること

個別最適な学び・令和の日本型教育の実践に励みます

たゆまぬ授業改善でわかる楽しい授業をつくります

保護者・地域と連携して、子供が安心して学べる学校をつくります

C Sや萩っ子サポーターズクラブと連携し、魅力的な学校をつくります

萩っ子の心得 「みんながよい気持ちになることをしよう」

《各委員記入用》

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ()

＜本年度の目標＞

学校教育目標「いい顔 いい友 いい学校」にそった学校運営方針に基づく支援活動を実施していく。そして、活動を積み上げてきた実践を大切にして今後につなげていく。また、十分な発信をしていく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

《振り返りのポイント》

(様式2)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ()

＜本年度の目標＞

※ 協議会で設定した取組目標を記載する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に記載する。

※ 委員個人の意見だけではなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

※ 委員個人の意見だけではなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

※ 協議会での協議結果（会議録への記載内容等）について、どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点

※ 委員個人の目標だけではなく、協議会全体としての目標を記載する。

学習支援

令和6年度三学期 活動報告

【関連授業】

1月	3年	<図工>くぎうちトントン	きなりハウス つながるプロジェクト	羽広雄太
3月予定	2年	<国語>スーホの白い馬	佐藤クラシックギター工房	佐藤 剛

【スタディーサポート（スタサポ）】

月	学年	授 業 名	授業数	スタサポ内容
1月	6年	こんだてを工夫して（いももち）	8	調理実習・活動サポート
	3年	くぎうちトントン	6	安全見守り・活動サポート

【スタサポ活動数：年間】

学 年	スタサポ数	コマ数	スタサポ人数
1年生	3	9	40
2年生	4	16	36
3年生	5	32	38
4年生	3	8	17
5年生	9	52	40
6年生	3	30	10
にこほほ	2	4	9
計（延べ）	29	151	190

【ものづくりサポーター活動内容：年間】

	用 途	数
カーテン	6年生	4教室分8枚
まくらカバー	保健室用	
足ふきマット	雨の日玄関用	10枚
雑巾	家庭科室用	7枚
短冊	七夕飾り用	全児童全職員分
メモ帳	シャワーズへ	6セット
コースター		
モザイクアート		
計（延べ）	24名（うち地域3名）	

【シャワーズ活動人数：年間】

R6年4月～R7年3月
2か月ごと6期
56名（延べ）

